

# 令和2年(2020年)表における U表及びX表の推計手順について

令和3年3月15日  
産業連関技術会議

総務省政策統括官付  
統計審査官室（産業連関表担当）

# 令和2年(2020年)表における サービス部門のX表の推計手順 (1)

1. 経済センサス-活動調査におけるサービスの生産物分類に対応したX表の部門を設定
  - ▶ 行と列は、それぞれ細分化しうるが、その場合でもそれぞれの集合体が一対一に対応するように設定
    - ✓ 例えば、行部門の「ソフトウェア業」と「情報処理・提供サービス」を合計すると列部門の「情報サービス」と一致する、列部門の「事業用火力発電」と「事業用発電（火力発電を除く）」を合計すると行部門の「事業用電力」に一致する、といったイメージ
  - ▶ X表では、「クリーニング・サービス」、「理容サービス」といった生産物単位ではなく、「洗濯業」、「理容業」のように事業活動全体を部門として設定しているものも多く、2020年表においては生産物を事業活動に当てはめる形で部門を設定

# 令和2年(2020年)表における サービス部門のX表の推計手順 (2)

2. 当該部門に合わせて、経済センサス-活動調査を組替集計し、当該情報などを用いて、X表部門のCTを推計
  - 「ネーミングライツ付与サービス」などのように、複数の事業活動から生産される生産物で当該事業活動と生産工程が密接不可分な場合やそれを主業として行うことがないような生産物については、生産主体ごとに分割し、当該主体が主に生産する生産物が属する部門に配分する。
  - ✓ ただし、このようにして各部門に分割して配分した生産物は、少なくとも細品目（10桁CT）レベルでは分割する。

# 令和2年(2020年)表における サービス部門のX表の推計手順 (3)

3. 経済センサス-活動調査（企業票の費用部分）、サービス産業・非営利団体等調査、経済構造実態調査を用いて、部門別の投入比率を推計
  - ① 経済センサス-活動調査の企業票の費用項目を用いて、大まかな費用構成比を推計（給与総額、費用総額 - 給与総額、売上高 - 費用総額等）
    - ✓ 企業単位の費用構造をどのように加工するか（副業なし企業を活用する、産出構造を用いて加工する等）が課題
  - ② サービス産業・非営利団体等調査等の事業活動別の費用構成比を①を用いて補正
    - ✓ こうして作られたものが「サービス部門のU表」
  - ③ ②のうち、複数の事業活動が混在していると思われるもの\*を分割し、また、その費用構成をX表の部門まで細分化することで、X表の部門ごとの投入係数を推計
    - \* 例えば、「宿泊業」、「映画館」、「興行場・興行団」、「スポーツ施設提供業・公園・遊園地」などに飲食サービスが入っていないか、など

## 令和2年(2020年)表における サービス部門のX表の推計手順 (4)

4. 3で求めた投入係数を用いてサービス部門のX表（投入側）を推計し、そこに、これまでどおりの手法で推計したサービス部門以外のX表（投入側）を加え、計数調整\*を行いX表を推計

\* 別途推計した産出側の情報との突合、運賃、商業マージンの調整などを行う

(参考) 全部門を対象としたU表の推計

- ◆ 全部門を対象としたU表は、こうして推計したX表とS表\*から、数学的仮定（商品技術仮定）を用いて推計
- \* S表の行部門（生産物）は、X表の行部門と一致させる必要